



のある子どもたちです。主催者の青少年相談員のみなさんから説明を聞いて、いよいよスタートです。

### テント張りに挑戦

最初の仕事は、「テント張り」から。「去年と同じように張ったら、きつとうまくいくよ!」

「私たちが一番おそいみたい。頑張ろう。」と、一生懸命テント張りに挑戦です。

そして数分後、8つテントが横一線に並び、テントの中にいち早く入り込んだ子ども

たちは、横になって本を読んだり、凧あげ大会の凧をひろげたりと、まるで自分の家のようにくつろいでいました。

### 夕食はカレーライス

でも、ゆっくりしていら

るのはほんの一時。次は、今夜の夕食の準備で、野菜を切る仕事、ごはんを炊く仕事の2つに分かれてカレーライス作りに挑戦です。

野菜を切っている女の子の中には、お母さんの手伝いをしているのか、包丁の手付き

が上手な子がちらほらと見受けられました。一方、ごはん

を炊く男の子は、マッチの火がなかなかつかず、苦戦していました。

そして、待つこと1時間、ごはんも炊けてカレーもできて、やっと夕飯にたどりつくこ

とができました。「うん、なかなかだね。おいしいよ。」と、顔を見合わせ、とても満足そうでした。

夜は、キャンプファイヤーで友情の絆を深めました。

### 小あじが大量

次の日は、200名の子ど

## 地びき網・凧あげに歓声

### 海のつどい子ども大会



もたちが参加して、海のつどい子ども大会が――。

越川教育長のあいさつの後、付き添いの両親や浜辺で遊んでいた人たちも加わって、地びき網が行われました。

最初は楽しそうに網を引いていた子どもたちも、網が砂浜に近づくにつれ、引く手にも力が入り、掛け声もでてるようになりまし

た。そして、30分くらい網を引くと波のあいだから銀色に輝く小あじがピチピチ跳ね上がったのが見えてくると「やっ

4.9.1

# 物の大切さや協力心を学ぶ

## 体験キャンプ

子どもたち49名が参加した体験キャンプが、7月25日・26日の2日間、町保養センター跡地で行われました。これは、キャンプを通じて子どもたちに食べものの大切さや協力する大切さを知ってもらおうと毎年開かれているものです。

今年参加した内のおよそ3分の1は一度は参加したこと